



学校だより

学校教育目標

「**す**すんで **み**んなで **れ**いをつくして **か**んばりつづけて **お**もいあって **か**がやきつづけるすみれっ子」
～豊かな人間関係の中で、一人ひとりが自分のよさを十分に発揮し、互いに高め合う子を育てます～

7月号

令和8年6月 30 日
横浜市立すみれが丘小学校

子どもに問う

校長 藤本 光子

大きな行事の一つである6年生の修学旅行が無事終わりました。7月は5年生の宿泊学習があり、今、まさに準備を進めているところです。

私が宿泊学習で楽しみにしているものの一つに、「室長会議」というものがあります。夜になると各部屋のリーダーである「室長」達が集まり、先生と一緒に一日を振り返り、反省を行うのです。リーダーとしての責任感や積極性を伸ばすという目的がありますが、この「室長会議」がなかなかおもしろいのです。

6年生の修学旅行1日目、足尾銅山見学を経て、子どもたちはお待ちかねの宿に到着。宿はすみれが丘小の貸し切りということもあり、子どもたちはすでに興奮気味。部屋レクや夕食、温泉を友達と共にするという普段では味わうことのできない濃厚な経験を存分に味わいました。わくわくしながら布団を敷いて、いよいよあと少しで就寝という気分が最高潮に達したときに室長会議が始まります。

少しそわそわした室長達に、先生がこう話し始めます。

「今から重要なことを伝えます。必ず部屋の人みんなに伝えてください。」

途端に空気が変わり、子どもたちはメモを取り始めます。この表情が変わる瞬間がなんとも言えません。先生の指示を聞きながら、熱心に手を動かします。連絡が一通り終わった後、さらに担任の先生達がこう付け加えました。

「自分でふりかえてみて、気づいたことはありますか？」

実は、この「問い」がかなり重要です。ただ先生に言われたことをするだけでなく、子どもが自分事として考え、行事をつくっていかうとする意識を変える「問い」なのです。子どもたちの顔つきはみろみると変わっていききました。「部屋で騒いでしまった」「時間が守れていない時があった」など、友達と意見を出し合うことで、リーダーとしての自覚がさらに高まっていくのです。

最後に私からは、あいさつやマナーなどよかったことを褒め、よいところや課題を部屋の人みんなに広げてほしいと話しました。その後、各部屋では、会議の内容をメンバーに伝えようとがんばる室長の姿がありました。

ただ楽しいだけではない、学びのある行事にするためには、教師側からの意図的な仕掛けが欠かせません。目的をもって子ども自身に「問う」ことは、大きな学びにつながります。

夏休みにはご家庭での会話も増えることと思います。ぜひ「あなたはと思う？」と子どもに問い、考えさせ、子どもの声を聴くことで、主体性を伸ばしてあげてください。



食堂の大きな窓から
自然いっぱい景色。
鹿も見えました。

今年度、水泳学習の際に、民間スイミングスクール指導員の活用を試行的に導入します。本校は小規模校のため教員の数が少ない中、これまでも安全第一で学習を進めてきました。今回、指導員を加えることにより、さら泳法等の指導を充実させることを目指します。指導員はライセンスをもち、安全面の指導も確かです。まだ試行段階ですが、子どもたちのために、安全で効果的な指導ができるよう努めてまいります。ご理解・ご協力をよろしくお願いします。